

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 12 日 (2015.3.12)

【公開番号】特開 2014-143520 (P2014-143520A)

【公開日】平成 26 年 8 月 7 日 (2014.8.7)

【年通号数】公開・登録公報 2014-042

【出願番号】特願 2013-10112 (P2013-10112)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/64 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 2 B 27/02 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/64 5 1 1 A

G 0 9 F 9/00 3 5 9 Z

G 0 9 F 9/00 3 6 6 G

G 0 2 B 27/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 26 日 (2015.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザに画像を提示することが可能に構成された表示部を有し、ユーザの頭部に装着可能に構成された本体と、

長手方向が第 1 の軸方向である操作子を有し、前記操作子に対する前記第 1 の軸方向に沿った第 1 の操作を静電的に検出し、前記操作子に対する前記第 1 の軸方向と直交する第 2 の軸方向に沿った第 2 の操作を検出することがそれぞれ可能であり、前記本体に配置された入力操作部と

を具備するヘッドマウントディスプレイ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のヘッドマウントディスプレイであって、

前記入力操作部は、

前記第 1 の操作を静電的に検出する第 1 の検出素子と、

前記第 2 の操作を検出する第 2 の検出素子とをさらに有する

ヘッドマウントディスプレイ。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のヘッドマウントディスプレイであって、

前記操作子は、前記第 1 の軸方向に延在し前記第 1 の軸まわりに回転可能に構成される回転子を含み、

前記第 1 の検出素子は、前記回転子上に配置され、

前記第 2 の検出素子は、前記回転子の回転に基づいて前記第 2 の操作を検出する

ヘッドマウントディスプレイ。

【請求項 4】

請求項 2 に記載のヘッドマウントディスプレイであって、

前記操作子は、歪み変形可能に構成され、

前記第 2 の検出素子は、前記操作子の歪みに基づいて前記第 2 の操作を検出するヘッドマウントディスプレイ。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のヘッドマウントディスプレイであって、
前記操作子は、弾性部材であり、
前記第 1 の検出素子は、前記弾性部材に配置され、
前記第 2 の検出素子は、前記弾性部材に配置され前記第 2 の軸方向に沿って配列された複数の歪みセンサを含む
ヘッドマウントディスプレイ。

【請求項 6】

請求項 4 に記載のヘッドマウントディスプレイであって、
前記本体は、前記第 1 の検出素子が配置される操作領域をさらに有し、
前記操作子は、
前記操作領域に支持される第 1 の端部と、前記第 2 の軸方向に曲げ変形が可能な第 2 の端部とを有する梁部を含み、
前記第 2 の検出素子は、前記梁部の曲げ量に基づいて前記第 2 の操作を検出する
ヘッドマウントディスプレイ。

【請求項 7】

請求項 2 から 6 のうちのいずれか 1 項に記載のヘッドマウントディスプレイであって、
前記入力操作部は、前記第 1 の検出素子の出力と前記第 2 の検出素子との出力に基づいて、前記画像を制御する制御部をさらに有する
ヘッドマウントディスプレイ。

【請求項 8】

請求項 1 から 6 のうちのいずれか 1 項に記載のヘッドマウントディスプレイであって、
前記本体は、前記第 1 の軸方向に延在しユーザの側頭部に装着される支持部をさらに有し、
前記表示部と前記操作子とは、前記支持部に支持される
ヘッドマウントディスプレイ。

【請求項 9】

画像を表示することが可能に構成された本体と、
長手方向が第 1 の軸方向である操作子を有し、前記操作子に対する前記第 1 の軸方向に沿った操作を静電的に検出し、前記操作子に対する前記第 1 の軸方向と直交する第 2 の軸方向に沿った操作を検出することがそれぞれ可能であり、前記本体に配置された入力操作部と
を具備する表示装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の表示装置であって、
前記本体は、前記第 1 の軸方向に延在する縁部を含む筐体を有し、
前記操作子は、前記縁部に沿って配置される
表示装置。

【請求項 11】

長手方向が第 1 の軸方向である筐体と、
長手方向が前記第 1 の軸方向である操作子を有し、前記操作子に対する前記第 1 の軸方向に沿った操作を静電的に検出し、前記操作子に対する前記第 1 の軸方向と直交する第 2 の軸方向に沿った操作を検出することがそれぞれ可能であり、前記筐体に配置された入力操作部と
を具備する入力装置。